

「まごころ通信」

事務局 (書記) 新井国彦
〒370-0042 高崎市貝沢町 4 4 7
TEL 027-361-9731

第 61 回「まごころ塾」は、5 月 11 日 (水) 午後 7 時～高崎市東部公民館の図書室で行いました。

今回は、バルーンコーディネーターの尾林紫^{ゆかり}さんが、参加者 18 人を素敵な笑顔にさせてくれました。お話の後に、作品作りを通して、実際に人を喜ばせるということも体験させていただきました。

誰もが笑顔になれるバルーンアート

オーブバルーンアート 尾林 紫

http://www.geocities.jp/orbballloon_art/



▲オーブバルーンアートの尾林 紫さん
各種イベントの飾り付けをしている。

アメリカでの夏休み・・・感動がもとに

バルーンアートの仕事の出会いのもとをたどると、小 6 のアメリカのニュージャージー州の親戚に 1 ヶ月ほど滞在したことだった。

公園で楽しそうに過ごす家族の付近には、アイスクリーム、ホットドッグ、バルーン屋さんがさりげなくあり、いろいろな面でカルチャーショックを受けた。その感動がもとにあり、休日に家族やカップルが自由に楽しく過ごせる公園づくりの道に進もうと考えるようになった。

))) 公園などの設計からバルーンコーディネーターへ

大学で造形を学び、都内の設計会社に入社。念願の公園や遊歩道、道路の設計を思う存分にした。しかし、仕事はハードで体に不調を感じるようになった。そんな時、同僚が一足先に退社し、バルーンコーディネーターとして仕事を始めた。それを手伝っているうちに、自分の仕事を見つめ直す時が来たことを感じた。地元 (群馬県太田市) に戻り、在宅の仕事やバルーン作りの仕事をしていると、結婚式でのバルーンの仕事に依頼されるようになった。

そこから、人の縁、仕事のつながりで広がり、始めて 1 年ころにイオンから大きな仕事をいただいた。夢ある展示として、大きなサンタクロースを風船で作り、2 ヶ月間の展示で好評を得た。

幸せをコーディネートするのが私たちの仕事で、「人びとに夢を」を言葉だけでなく、実際の形にして提供できるようにしている。ボランティアで学童や高齢者に教室を開

くと、それぞれに楽しんでもらえるし、高齢者なども技術を身につけ、子どもたちや孫から喜ばれ、あてにされることで張り合いが生まれると言う。



▲むくつき男たちも笑顔で作品づくり



▲作品づくりに夢中になり、立ち上がる参加者

これからのバルーンアート((

ビジネスのチャンスは自分で開拓するものであり、世の中を観る目さえあれば、可能性は無限に広がる。

これからぜひやってみたい活動として、老人施設などで夢を与えることができればいいと思う。イベント会場に来られない人もいるので、その人たちにも何かしたい。

大切にしたいことは、良い・悪いにとらわれ過ぎず、まずはやること。「人を楽しませる」とはどういうことか、見せてあげ、体験させてあげることだ。



内堀一夫塾長のお墓

5月21日(土)が内堀一夫先生の一周忌にあたり、私と大木正さんとで法要に参加しました。

建立された墓碑には「まごころ 翔 富士」と銘があり、その日、納骨もされました。碑に刻まれた『まごころ』は、塾生の気持ちを汲んでいただいたものです。

【墓所】八幡霊園 11-1-11



お知らせ

第62回「まごころ塾」

日時：平成23年7月6日(水)午後7:00～9:00

場所：高崎市東部公民館

内容：講師依頼中

※平成23年度年会費¥2000を未納の方はお納めください。なお、初めて参加の方は無料。その方が2回目以降参加される場合、塾入会とさせていただきます、¥2000をいただく慣例となっています。